

学校教育目標	自分のよさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高めあって生きる。 【知】自ら課題を見つけ、学びを深める子どもを育てます。 【徳】友達よさや自分のよさを認め、思いやりのある子どもを育てます。 【体】心と体を鍛え、自分や人の生命を大切にすることを育てます。 【公】地域の理解を深め、共に生きることを実感できる子どもを育てます。 【開】様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子どもを育てます。			
	創立 42 周年	学校長 遠藤 清美	副校長 山田 正治	2 学期制 一般学級：12 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 338 人 主な関係校： 汐見台中学校、岡村中学校、藤の木中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	汐見台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>< コミュニケーション力 > < 自分づくりに関する力 > < 問題発見・解決能力 ></p>	<p>汐見台中 汐見台小 浜小 山王台小</p>	<p>自らの可能性を追求し、主体的に考え行動する子ども 互いの心を大切に、学び合い、高め合う子ども</p> <p>・「豊かな心の育成」をブロック共通テーマとして設定し、年2回の小中合同授業研究会を通してテーマに迫っていく。 ・道徳の時間を核として全教育活動を通して「豊かな心」を育てていく。 ・アクティブラーニングを取り入れた授業を通して、主体的に考え行動する子どもを育てる。</p>

中期取組目標	<p>○子どもが安心・安全で過ごし、笑顔あふれる学校づくりを目指します。 ・3年間を通して、生命の大切さと一人ひとりの思いに寄り添う教職員の組織作りに努めます。 ○様々な活動を通して、自分らしさを発揮しながら相手を尊重できる子どもを育てます。 ・3年間を通して、一人ひとりが自分に自信をもって行動できるようにします。 ○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、対話的な学びを充実させます。 ・1年目は学ぶことの楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・2年目は子どもの表現を大切にしながら、相手の立場や考えを尊重して発表し合う力を育てます。 ・3年目は学び合い伝え合うことで自分の考えを深め、共に高め合って生きる子どもを育てます。</p>
--------	--

重点取組分野	具体的取組					
<table border="1"> <tr> <td>知</td> <td>確かな学力</td> <td rowspan="2"> ①目的意識や相手意識をもった学び合いの場を意図的に設定し、共に高まり合う学習集団づくりを進める。②自分の考えを明確にして学び合い、考え方を広げたり深めたりしていけるようにする。③必要感や切実感のある活動から問題を発見、解決していく学習を展開する。自分の問いをもち主体的に活動し解決することで達成感や成就感のある学習活動にしていく。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>学習指導・評価委員会</td> </tr> </table>	知	確かな学力	①目的意識や相手意識をもった学び合いの場を意図的に設定し、共に高まり合う学習集団づくりを進める。②自分の考えを明確にして学び合い、考え方を広げたり深めたりしていけるようにする。③必要感や切実感のある活動から問題を発見、解決していく学習を展開する。自分の問いをもち主体的に活動し解決することで達成感や成就感のある学習活動にしていく。	担当	学習指導・評価委員会	①学校生活における様々な場面で、一人一人が友達や教職員など様々な人に認められ、自尊感情を高めていけるようにする。②たてわり活動を通して異学年同士のつながりを大切に、思いやりの心を育てる。③礼儀正しくあいさつすることを通して、自他を大切にできる子どもの育成、個性を伸ばせる関係づくりができるようにしていく。
知	確かな学力	①目的意識や相手意識をもった学び合いの場を意図的に設定し、共に高まり合う学習集団づくりを進める。②自分の考えを明確にして学び合い、考え方を広げたり深めたりしていけるようにする。③必要感や切実感のある活動から問題を発見、解決していく学習を展開する。自分の問いをもち主体的に活動し解決することで達成感や成就感のある学習活動にしていく。				
担当	学習指導・評価委員会					
<table border="1"> <tr> <td>徳</td> <td>豊かな心</td> <td rowspan="2"> ① 保護者の理解を得ながら「ハンカチを持つ・手洗い・うがい」などの基本的な生活習慣に関する指導を行う。② 一校一実践として「縄跳び」に取り組む。年間を通して短縄や長縄をクラスや個人で取り組み、体力向上を目指す。③食育部を中心に、学校全体で食育に関する共通理解を図る。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>人権教育</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	① 保護者の理解を得ながら「ハンカチを持つ・手洗い・うがい」などの基本的な生活習慣に関する指導を行う。② 一校一実践として「縄跳び」に取り組む。年間を通して短縄や長縄をクラスや個人で取り組み、体力向上を目指す。③食育部を中心に、学校全体で食育に関する共通理解を図る。	担当	人権教育	①地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、学校内外の人とのかかわりの中で自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
徳	豊かな心	① 保護者の理解を得ながら「ハンカチを持つ・手洗い・うがい」などの基本的な生活習慣に関する指導を行う。② 一校一実践として「縄跳び」に取り組む。年間を通して短縄や長縄をクラスや個人で取り組み、体力向上を目指す。③食育部を中心に、学校全体で食育に関する共通理解を図る。				
担当	人権教育					
<table border="1"> <tr> <td>体</td> <td>健やかな体</td> <td rowspan="2"> ①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、社会性を育てる。児童がどのような行為がいじめに繋がるのかを考え学ぶ機会を設定する。②児童支援専任を中心に、学年や低中高のブロック、7学年など、連携を密にしながら学校全体で児童の指導や支援にあたる体制を整える。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育・安全環境</td> </tr> </table>	体	健やかな体	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、社会性を育てる。児童がどのような行為がいじめに繋がるのかを考え学ぶ機会を設定する。②児童支援専任を中心に、学年や低中高のブロック、7学年など、連携を密にしながら学校全体で児童の指導や支援にあたる体制を整える。	担当	体育・安全環境	①校内研修を計画的に実施し、学校に求められる教職員の資質向上に努める。②校内重点研究を充実させ、指導力・授業力の向上を図る。③メンターチームの研修を充実させ、メンバーの授業力・指導力の向上を図るとともに職場内での仲間づくり・チームワークづくりに役立てる。④グループウェアを活用して情報の共有化を図り、事務の効率化を推進していく。
体	健やかな体	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、社会性を育てる。児童がどのような行為がいじめに繋がるのかを考え学ぶ機会を設定する。②児童支援専任を中心に、学年や低中高のブロック、7学年など、連携を密にしながら学校全体で児童の指導や支援にあたる体制を整える。				
担当	体育・安全環境					
<table border="1"> <tr> <td>公開</td> <td>自分づくり教育</td> <td rowspan="2"> ①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生活総合・キャリア教育</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育	①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。	担当	生活総合・キャリア教育	①災害や身近な危険について全児童の意識を高めるため日常的に指導し、避難訓練や学校生活に活かしていく。②全職員の安全に関する共通理解の徹底を図るため、避難訓練の綿密な実施計画の作成、打ち合わせを実施する。学年やブロック間で情報共有をする。③職員の安全への意識を高めるため、安全に関する研修と点検を定期的に行う。
公開	自分づくり教育	①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。				
担当	生活総合・キャリア教育					
<table border="1"> <tr> <td>いじめへの対応</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①全学級の環境整備をユニバーサルデザインの視点で行う。②特性を理由に授業に参加できない状況がないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく授業に参加できるようにする。③一般学級と個別支援学級、特別支援教室の連携強化に向けて情報を共有する。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	いじめへの対応		①全学級の環境整備をユニバーサルデザインの視点で行う。②特性を理由に授業に参加できない状況がないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく授業に参加できるようにする。③一般学級と個別支援学級、特別支援教室の連携強化に向けて情報を共有する。	担当	児童指導	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
いじめへの対応		①全学級の環境整備をユニバーサルデザインの視点で行う。②特性を理由に授業に参加できない状況がないか常に教育活動を見直し、誰一人取り残すことなく授業に参加できるようにする。③一般学級と個別支援学級、特別支援教室の連携強化に向けて情報を共有する。				
担当	児童指導					
<table border="1"> <tr> <td>人材育成・組織運営(働き方)</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>メンターチーム研・初任研</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。	担当	メンターチーム研・初任研	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
人材育成・組織運営(働き方)		①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。				
担当	メンターチーム研・初任研					
<table border="1"> <tr> <td>地域学校協働活動</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務・地域連携</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。	担当	教務・地域連携	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
地域学校協働活動		①学校運営協議会のメンバーを中心に、学校での成果や課題を共有することを通し、学校と地域が連携・協働して学校運営に取り組んでいく。②学援隊や地域の方との交流を深めるために、フェスティバルや、音楽朝会など開かれた学校づくりに努める。				
担当	教務・地域連携					
<table border="1"> <tr> <td>安全管理</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>安全部</td> </tr> </table>	安全管理		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。	担当	安全部	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
安全管理		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。				
担当	安全部					
<table border="1"> <tr> <td>特別支援教育</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援教育</td> </tr> </table>	特別支援教育		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。	担当	特別支援教育	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
特別支援教育		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。				
担当	特別支援教育					
<table border="1"> <tr> <td>児童指導</td> <td></td> <td rowspan="2"> ①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。 </td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導</td> </tr> </table>	児童指導		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。	担当	児童指導	①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。
児童指導		①全職員が「山王台小スタンダード」を共有して指導に当たる。②児童理解の全体会を通して、全職員で子ども達の実態を共通理解し指導する。③感染予防をしながら学級内の話し合い活動を充実させ、自分の考えや思いを伝えたり友達の意見を聞き認め合ったりする機会を多く取り入れる。				
担当	児童指導					